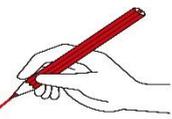


# Move Mountains

5年生通信

5月24日29号



## ○要約の「技術」

説明文の学習では、5年生から**要旨をまとめる**ことが学習事項として加えられます。要旨とは「その文章が主張しているもっとも大切な点」のことです。いきなり要旨をまとめることはかなりレベルの高い要求です。

まずは要約、文章を短くまとめることから始めます。

「1段落を25字以内で要約します。」

25字に限定することで、取り組むハードルがグッと下がります。回答がすぐに出てくるので、比較・検討することができます。集団で授業をすることは、この時間に意味があるのです。

知らない言葉に出会ったとき、あなたはどうしますか。国語辞典を引いたり、人にきいたりするでしょう。そして、「言葉の意味が分かった。と思うかもしれませんが、しかし、このとき本当に言葉の意味が分かったのでしょうか。「言葉の意味が分かる」ことは、あなたが思う以上におく深いことです。なぜなら、言葉の意味には広がりがあるからです。このことを知っておくことは、言葉を学ぶときに役立ち、ふだん使っている言葉やものの見方を見直すことにもつながります。

「言葉の意味が分かること」今井むつみ著

読者の皆様もよろしければ参加してみてください。意外と、どのワードを入れようか大人でも悩みます。

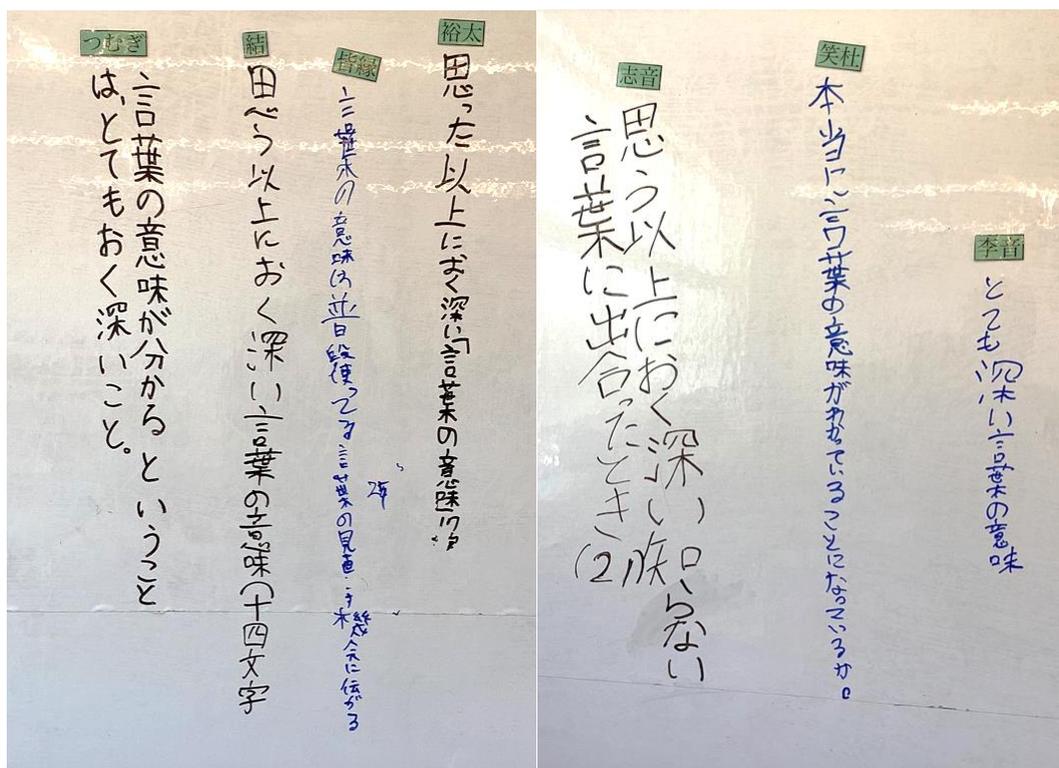
「4年生の時にたくさんした〜。」という声が聞こえてきます。が、

「どうするんだっけ…」が続きます。繰り返し、繰り返しこちら側が粘り強く教え続けることが肝要です。

子どもたちにもあえて詳しく説明しない状態で挑戦してもらいました。ノートを持って来て、丸をもらって、ホワイトボードに考えが次々と書き込まれていきます。

とは言え、どれもいいね、では要約ではありません。要約にも原理・原則があります。算数と同じように、答えがあります。

教室では以下のような要約が並びました。



大意は変わりませんが、文章がバラバラしています。

要約のポイントである以下の3つを示しました。

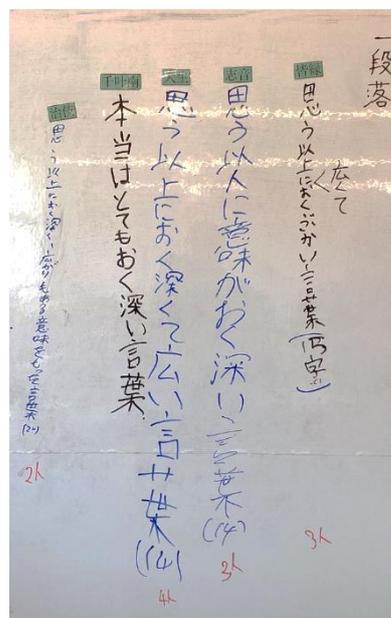
- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1) キーワードを3つ選ぶ</li> <li>2) 最も大切なキーワードを1つ選ぶ</li> <li>3) 最もキーワードで体言止める</li> </ol> |
|---|

体言止めにすることで、文章にしまりができます。いつもする必要はありません。

再び要約に取り組みます。

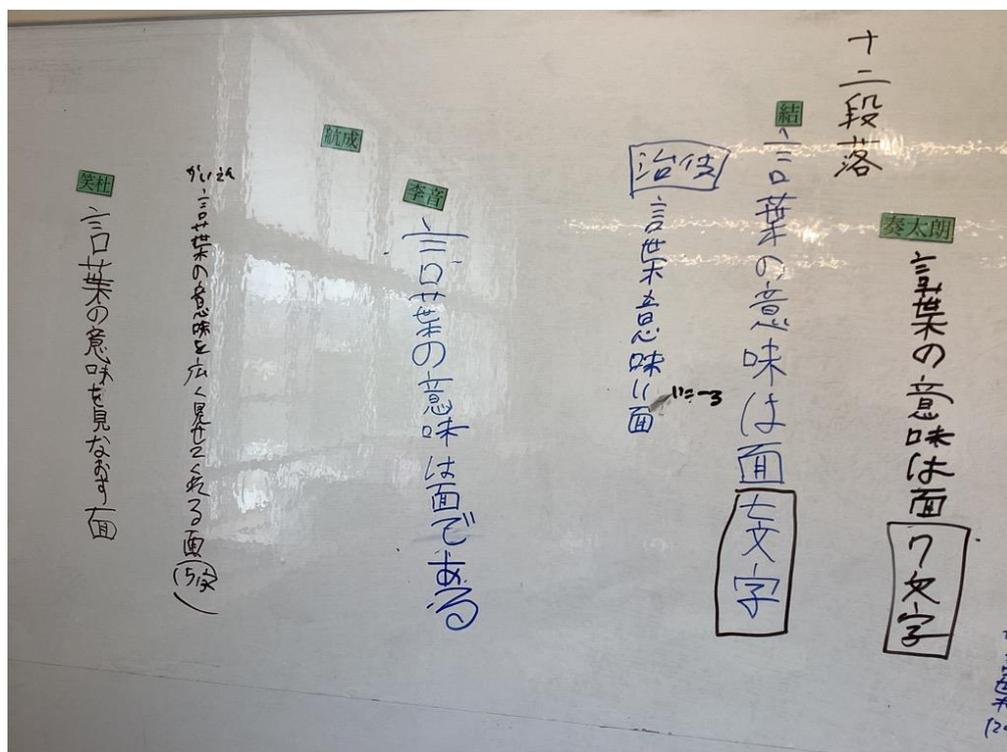
- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・思う以上に広くておくぶかい言葉 3人</li> <li>・思う以上に意味がおく深い言葉 3人</li> <li>・思う以上におく深くて広い言葉 4人</li> <li>・本当はとてもおく深い言葉</li> <li>・思う以上に深く、広がりもある意味をもった言葉 2人</li> </ul> |
|--|

みんなほとんど同じ文章になりました。要約ですから、感想などと違って個性を重視するのではなく、『正しく要点を



抜き出す』ことが求められます。こうして、言語技術を身につけていくことで他の場面でも活用できるようになるのです。

同じように1 2段落も要約しました。するとどうでしょう。



文末を「である」にするか「面」にするかが大きな違いとして、こちらもほとんど同じになりました。ノートを持ってきたときに「先生、ほとんど同じになります」「それでいいんだよ」と何回もやりとりがありました。

映像はこちらから↓

共有ドライブ> Guardian> 配布資料> 週間スケジュール> 5年> 通信 動画のフォルダ内にあります。

[https://drive.google.com/drive/folders/1-Rxpbz\\_Uk7YBxz7mED6NiUKsjPaFyRD7](https://drive.google.com/drive/folders/1-Rxpbz_Uk7YBxz7mED6NiUKsjPaFyRD7)

社会科の時間にも活用できます。「見開き2ページを3つのキーワードでまとめる」などです。

もちろん探究でも使えます。膨大な情報が載っている資料を見たときに「とりあえずキーワードを3つ見つけよう」と意識するだけで、視点が定まるのです。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

